

SM-12006A

無線 LAN 対応ケーブルモデム
CBW383G4J ユーザーマニュアル





<目次>

1	安全にお使いいただくには	3
2	各部の説明	4
2.1	背面パネルの説明	4
2.2	前面パネルの説明	4
2.3	ランプ表示と状態	5
3	機器のセットアップ	6
3.1	ログイン方法	6
3.2	モデム情報	7
3.3	基本設定	7
3.4	詳細設定	9
3.5	無線設定	12
4	端末設定方法	19
4.1	Windows 8 編	19
4.2	Windows 7 編	22
4.3	Windows XP 編	25
4.4	任天堂 DS 編	28
4.5	任天堂 DSi 編	31
4.6	任天堂 Wii 編	36
4.7	APPLE iPhone 編	42
4.8	APPLE iPad 編	45
4.9	APPLE MAC OS 10.6 以降 編	48
4.10	Android 編	51

1 安全にお使いいただくには

本製品を安全にお使いいただくには、下記の安全上の注意を必ずお読みいただき、ご使用下さい。

	警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または負傷する可能性が想定される場合。
	注意	取り扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険が想定される場合、及び物的損傷の発生が想定される場合。



警告

- ・ 電源は AC100V(50Hz/60Hz)を使用してください。
電源は電源コンセントから直接取り、タコ足配線は避けてください。
火災・感電の原因になります。
- ・ 本機に水が入ったり、本機がぬれたりしないようご注意ください。
本機の上に薬品や水などの入った容器を置かないでください。
- ・ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。
- ・ ACアダプタは、必ず付属の製品を使用してください。
- ・ 電源コードを傷つけたり、無理な力を加えたりしないでください。
電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- ・ 本機を分解しないでください。内部に調整箇所はありません。
お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
点検・修理は販売店にご依頼ください。
- ・ 煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。異常に気付いた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、ご加入のケーブルテレビ事業者またはサービス会社に修理をご依頼ください。
- ・ 異物が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、ご加入のケーブルテレビ事業者またはサービス会社に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。



注意

- ・ 極端な高温や低温の場所での使用や保存は避けてください。故障の原因になります。使用温度範囲は 0~40℃です。
- ・ ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落下してけがの原因になります。
- ・ 衝撃や連続的な振動の加わる場所には設置しないでください。故障の原因になります。
- ・ 本機の上にものを載せないでください。
- ・ 直射日光の当たる場所や暖房器具などの熱器具の近くには設置しないでください。また、湿度の高い場所やほこりの多い場所は避けてください。
- ・ 本機の通気孔をふさいだり、他の機器と積み重ねて使用しないでください。
内部の温度が上がり、故障の原因になります。
- ・ 長期間ご使用にならない場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。

2 各部の説明

2.1 背面パネルの説明



2.2 前面パネルの説明



2.3 ランプ表示と状態

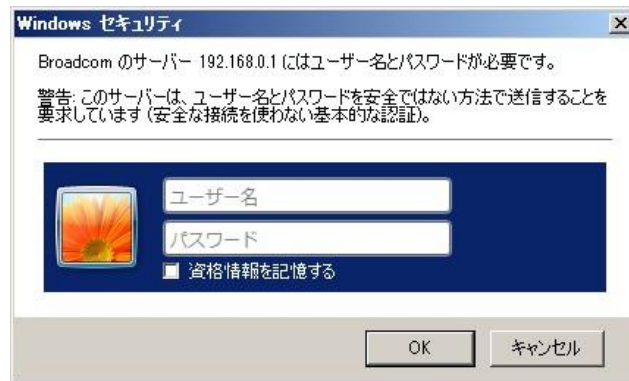
LED 表記	色	パターンの内容
POWER	緑	通電時に点灯
DS	緑	下りチャンネル設定時点滅
	緑	非ボンディング動作時点灯
	青	ボンディング動作時点灯
US	緑	上りチャンネル設定時点滅
	緑	非ボンディング動作時点灯
	青	ボンディング動作時点灯
ONLINE	緑	正常動作時に点灯
LAN1-4	橙	10/100Base 時に点灯[通信時は点滅]
	緑	1000Base 時に点灯[通信時は点滅]
WIFI a/n	緑	5GHz 無線 LAN 動作時に点灯[通信時は点滅]
WIFI b/g/n	緑	2.4GHz 無線 LAN 動作時に点灯[通信時は点滅]
WPS	緑	WPS 設定時に点灯[セキュリティー設定時には点滅]

3 機器のセットアップ

本機器はパソコンと LAN ケーブルにて接続し、WEB ブラウザから設定することで、機器の状態の確認や、各種の設定を行うことができます。

3.1 ログイン方法

- 3.1.1 本機器が正常に動作していることを確認し、パソコンを LAN ケーブルにて接続されている状態で、WEB ブラウザを起動させます。
- 3.1.2 初期出荷設定状態では、WEB ブラウザのアドレス入力欄に <http://192.168.0.1> を入力し、移動します。
- 3.1.3 ユーザー名とパスワードの入力を求める画面が表示された際には、必要な権限でのユーザー名とパスワードを入力します。



権限	出荷時設定	変更時のメモ
ユーザー名	admin	
パスワード	admin	

3.2 モデム情報

3.2.1 初期設定

本機器へのユーザー名とパスワードを変更する場合に使用します。
各入力欄に新旧の値を入力し「確定」ボタンを押すことで変更できます。
パスワードは無しから 16 桁までの英数字が設定できます。

※変更した情報を忘れた場合、WEB 設定画面へのログインが出来なくなりますので注意してください。

3.3 基本設定

3.3.1 基本情報設定

上位の接続状態の情報が表示されます。

LAN側設定

IPアドレス欄を変更することで、LAN及び無線プライマリネットワークのネットワークアドレスを変更することが出来ます。

WAN側設定

本設定はケーブルテレビ事業者の設定に従うため、通常は操作しません。

3.3.2 DHCP

基本設定

DHCP

LAN側の内蔵DHCPサーバの設定とオプションを提供します。

DHCPサーバ機能 Yes No

ローカルアドレスのスタート値

払い出しアドレス数

リースタイム

DHCPクライアント

MACアドレス	IPアドレス	サブネットマスク	動作時間	リース期限	選択
102500589020	192.168.000.010	255.255.255.000	D:00 H:01 M:00 S:00	Thu Aug 26 10:26:14 2010	<input type="checkbox"/>
0008744e5857	192.168.000.011	255.255.255.000	D:00 H:01 M:00 S:00	Thu Aug 26 10:06:07 2010	<input type="checkbox"/>

現在のシステム時間: Thu Aug 26 09:29:38 2010

各機能説明

DHCP サーバ機能

DHCP サーバ機能を有効にするのか無効にするのかを設定します。

ローカルアドレスのスタート値

DHCP で IP アドレスを配布する最初のアドレス番号

払い出しアドレス数

ローカルアドレスのスタート値から続く、IP アドレスを配布する総数

リースタイム

IP アドレスの貸し出し期間(リースタイム)を秒単位で指定します。

上記設定は**確定**ボタンを押すことで反映されます。

DHCP クライアント

現在、本機器が学習している接続端末(パソコンなど)のリストが表示されます。

これら接続端末を強制的に学習から削除する場合は、選択欄にチェックを入れて、

強制削除ボタンを押すことで、リストから削除できます。

3.4 詳細設定

3.4.1 IP アドレスフィルタ

The screenshot shows the 'Advanced Settings' (上級者設定) page for IP Address Filter (IPアドレスフィルタ). The page has a navigation bar with 'Modem Information' (モデム情報), 'Basic Settings' (基本設定), 'Advanced Settings' (上級者設定), and 'Wireless Settings' (無線設定). On the left, there is a sidebar with navigation buttons for 'IP Address Filter' (IPアドレスフィルタ), 'MAC Address Filter' (MACアドレスフィルタ), 'Protocol Filter' (プロトコルフィルタ), 'Port Forward' (ポートフォワード), and 'DMZ Settings' (DMZ設定). The main content area is titled 'Advanced Settings' (上級者設定) and 'IP Address Filter' (IPアドレスフィルタ). Below the title, there is a description: 'LAN side of unnecessary traffic to prevent, IP address of the range of the filter setting.' (LAN側の不要なトラフィックを防ぐために、IPアドレスの範囲でのフィルタ設定します。). Below this is a table for configuring the filter rules.

IPアドレスフィルタ		
先頭アドレス	終了アドレス	有効化
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>
192.168.0.0	192.168.0.0	<input type="checkbox"/>

At the bottom of the table, there is a '確定' (Confirm) button.

特定の IP アドレスの範囲で通信をフィルタすることが出来ます。
 アドレス範囲入力後、フィルタを有効化するには有効化の欄にチェックを入れます。
確定ボタンを押すことで設定します。

3.4.2 MAC アドレスフィルタ

The screenshot shows the 'Advanced Settings' (上級者設定) page for MAC Address Filter (MACアドレスフィルタ). The page has a navigation bar with 'Modem Information' (モデム情報), 'Basic Settings' (基本設定), 'Advanced Settings' (上級者設定), and 'Wireless Settings' (無線設定). On the left, there is a sidebar with navigation buttons for 'IP Address Filter' (IPアドレスフィルタ), 'MAC Address Filter' (MACアドレスフィルタ), 'Protocol Filter' (プロトコルフィルタ), 'Port Forward' (ポートフォワード), and 'DMZ Settings' (DMZ設定). The main content area is titled 'Advanced Settings' (上級者設定) and 'MAC Address Filter' (MACアドレスフィルタ). Below the title, there is a description: 'LAN side of unnecessary traffic to prevent, MAC address of the filter setting.' (LAN側の不要なトラフィックを防ぐためにMACアドレスでのフィルタを設定します。). Below this is a form for adding MAC addresses.

MACアドレス(設定例:01:23:45:67:89:AB)

アドレスエントリー数: 0/20

特定の MAC アドレスで通信をフィルタすることが出来ます。
 画面上の設定例に基づき、コロン区切りで入力し、**MAC アドレスの追加**ボタンを押すことで、フィルタを反映させます。設定の削除は、入力したリストを選択し、**MAC アドレスの消去**ボタンを押すことで、削除します。

3.4.3 プロトコルフィルタ

上級者設定

プロトコルフィルタ

LAN側の不要なトラフィックを防ぐためにトランスポート層のプロトコル番号でのフィルタを設定します。

プロトコルフィルタ			
先頭番号	終了番号	種類	有効化
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>
1	65535	両方	<input type="checkbox"/>

設定

特定のプロトコル番号の範囲で通信をフィルタすることが出来ます。

プロトコルの種類は、TCP もしくは UDP か、その両方を選択することが出来ます。

プロトコル番号の範囲入力後、フィルタを有効化するには有効化の欄にチェックを入れます。

確定ボタンを押すことで設定します。

3.4.4 ポートフォワード

特定のプロトコル番号の範囲で通信を端末に転送することができます。
 プロトコルの種類は、TCP もしくは UDP か、その両方を選択することができます。
 設定入力後、設定を有効化するには有効化の欄にチェックを入れます。
確定ボタンを押すことで設定を反映します。

3.4.5 DMZ 設定

DMZとしてサーバを公開する場合に端末のIPアドレスを入力し**設定**ボタンを押します。
 サーバを公開しない場合には、0(ゼロ)を入力します。

3.5 無線設定

2.4GHz(802.11b/g/n)と 5GHz(802.11a/n)の設定方法は共通です。それぞれの無線帯域の設定選択は、左側のボタン位置より選択してください。

3.5.1 802.11 無線機能



無線 LAN の電気的な設定を行います。

無線設定

無線 LAN を使用する場合は“有効化”を選択し、無線 LAN を使用しない場合は“無効化”を選択します。

送信パワー

本機器の無線送信パワーを調整します。他に無線 LAN 機器がある場合などでは、お互いの干渉を避けるために調整することが出来ます。

802.11n モード

802.11n 対応端末を利用する場合に設定します。通常は自動で問題ありません。

帯域幅

40MHz の 802.11n チャンネルボンディングを用いた高速通信時に 40MHz に設定します。ただし、利用帯域を広げることは、他の無線 LAN 機器との干渉が起こることがあり、干渉した場合は逆に高速化の妨げになることがあります。

コントロールチャンネル側波帯(40MHz 設定時のみ)

帯域幅 40MHz 設定時に、上側か下側のどちらにチャンネルを配置するかを選択できます。他に無線 LAN 機器がある場合などでは、お互いの干渉を避けるために調整することが出来ます。

無線チャンネル

通信する無線チャンネルを変更することが出来ます。

設定変更後に **設定** ボタンを押すことで反映します。また、標準的な設定に戻す場合には、**標準設定に戻す** ボタンを押します。

3.5.2 プライマリネットワーク

無線設定

プライマリネットワーク

プライマリワイヤレスネットワークの設定とセキュリティ設定を提供します。

CBW383G4J-74DB02-g1 (00:1C:7B:CD:10:0B)

プライマリネットワーク 有効化

ネットワーク名(SSID)

無線端末間の通信 許可

WPA 無効化

WPA-PSK 有効化

WPA2 無効化

WPA2-PSK 有効化

WPA/WPA2 暗号化方式

WPA暗号化キー Show Key

RADIUSサーバのIPアドレス

RADIUSサーバのポート番号

RADIUSサーバのキー

グループキーの交換間隔

WPA/WPA2再認証間隔

WEP暗号化 無効化

公開鍵認証 任意

802.1x認証 無効化

ネットワークキー1

ネットワークキー2

ネットワークキー3

ネットワークキー4

標準ネットワークキー

パスフレーズ

自動セキュリティ設定

WPS

WPS Config State: Configured

アクセスポイントの
ボタンを押すことで無線接続と
Wi-Fi Protected Setup (WPS) が設定できます。

デバイス名

WPS設定AP

PIN:

WPS端末の追加

端末の追加:

端末のPIN番号:

端末のMACアドレス:

LAN 側と同一ネットワークであるプライマリな無線ネットワークの設定を提供します。
IP アドレスの配布は LAN 側と同様の 3.3.2 DHCP の設定に従います。
設定変更後は **設定** ボタンを押すことで反映します。

主な機能説明

プライマリネットワーク

プライマリネットワークによるセキュリティ設定で無線接続を行う場合には“有効化”を選択し、無線接続をしない場合には“無効化”を設定します。

ネットワーク名 (SSID)

32 文字までの英数字で、接続する端末との間で同じ設定を入れます。

利用者が安易に想定できない SSID にすることをお奨めします。

無線端末間の通信

無線接続端末が複数存在した場合、それらの端末間での通信を許可または禁

止する事が出来ます。

WPA(もしくは WPA2)

暗号化及び認証に別途 RADIUS サーバを使う方式です。

WPA(もしくは WPA2)-PSK

暗号化のために共有鍵を使う方式です。共有鍵自身は、WPA 暗号化キーで入力します。

WPA/WPA2 暗号化方式

暗号化の方式を選択しますが、汎用性と処理速度を考慮して AES の選択を推奨します。

WPA 暗号化キー

WPA による暗号化を行うキーを入力します。キーは8~63文字の英数字を入力します。入力した文字は、●に置き換わりますが、入力欄の右にある“Show Key”をチェックすることで可視化出来ます。

RADIUS サーバの IP アドレス

認証に RADIUS サーバを用いる際のサーバ IP アドレス

RADIUS サーバのポート番号

認証に RADIUS サーバを用いる際のサーバ待ち受けポート番号

RADIUS サーバのキー

認証に RADIUS サーバを用いる際のサーバキー

グループキーの交換間隔

グループキーの交換間隔を秒単位で指定します。

WPA/WPA2 再認証間隔

WPA/WPA2 再認証間隔を秒単位で指定します。

WEP 暗号化

暗号化キーの長さを設定します。対応する端末のサポートできる最長のキーを選択することを推奨します。

公開鍵認証

任意: 認証の初期段階では暗号化を行わない方式。

必須: 認証の初期段階から WEP 暗号化を行って通信確立を行う方式。(推奨)

802.1x 認証

802.1x 認証を行う場合には“有効化”、行わない場合には“無効化”を選択します。

ネットワークキー

WEP 認証用のキーを入力します。

キーは下記の入力規則があります。

	ASCII 設定	16進数設定
使用可能文字(数字)	半角英数	0-9、a-f
64bit 設定時	5文字	10桁
128bit 設定時	13文字	26桁

標準ネットワークキー

4セット存在するネットワークキーの内、実際に使用するネットワークキー番号
パスフレーズ

パスフレーズに、32文字以下の半角英数字を入力し、**WEP キーの生成**ボタンを
押すことで、自動的にネットワークキーを生成することができます。

3.5.2.1 自動セキュリティ機能

WPS(Wi-Fi Protected Setup)を使用し、対応したゲーム機などとの間で簡
単にセキュリティ設定が可能です。接続する端末機器の操作方法は、接
続する端末機器のマニュアルをご確認下さい。本機能を使用しない場合は
“無効化”を選択します。


3.5.2.1.1 押しボタン方式

本機器の押しボタンを2秒程度押し、LED を点滅状態にします。また、
端末の追加設定の**追加**ボタンを押すことで、自動的にセキュリティ
設定が完了します。

3.5.2.1.2 PIN 入力方式

端末のPIN 番号の入力欄に接続する端末機器が発行するPIN 番号
を入力し**追加**を押します。また、**PIN 番号の生成**ボタンで生成した
PIN 番号を接続端末側に入力する事でも設定可能でも、自動的にセ
キュリティ設定が完了します。

3.5.3 セカンダリネットワーク

モテム情報	基本設定	上級者設定	無線設定
 <h2 style="display: inline;">無線設定</h2>			
<h3>セカンダリネットワーク</h3> <p>セカンダリワイヤレスネットワークの設定とセキュリティ設定を提供します。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>2.4GHz(802.11b/g/n)</p> <p>802.11無線機能</p> <p>プライマリネットワーク</p> <p>セカンダリネットワーク</p> <p>アクセス制限</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>5 GHz(802.11a/n)</p> <p>802.11無線機能</p> <p>プライマリネットワーク</p> <p>セカンダリネットワーク</p> <p>アクセス制限</p> </div> <div style="width: 35%;"> <h4>セカンダリネットワークのセキュリティ設定</h4> <p>セカンダリネットワーク <input type="text" value="無効化"/></p> <p>セカンダリネットワーク名(SSID) <input type="text" value="CBW383G4J-74DB02-e2"/></p> <p>無線端末間の通信 <input type="text" value="許可"/></p> <p>WPA <input type="text" value="無効化"/></p> <p>WPA-PSK <input type="text" value="有効化"/></p> <p>WPA2 <input type="text" value="無効化"/></p> <p>WPA2-PSK <input type="text" value="有効化"/></p> <p>WPA/WPA2 暗号化方式 <input type="text" value="AES"/></p> <p>WPA暗号化キー <input type="text"/> <input type="checkbox"/> Show Key</p> <p>RADIUSサーバのIPアドレス <input type="text" value="0.0.0.0"/></p> <p>RADIUSサーバのポート番号 <input type="text" value="1812"/></p> <p>RADIUSサーバのキー <input type="text"/></p> <p>グループキーの交換間隔 <input type="text" value="0"/></p> <p>WPA/WPA2再認証間隔 <input type="text" value="3600"/></p> <p>WEP暗号化 <input type="text" value="無効化"/></p> <p>公開鍵認証 <input type="text" value="任意"/></p> <p>802.1x認証 <input type="text" value="無効化"/></p> <p>ネットワークキー1 <input type="text"/></p> <p>ネットワークキー2 <input type="text"/></p> <p>ネットワークキー3 <input type="text"/></p> <p>ネットワークキー4 <input type="text"/></p> <p>標準ネットワークキー <input type="text" value="2"/></p> <p>パスフレーズ <input type="text"/></p> <p style="text-align: center;"><input type="button" value="WEPキーの生成"/></p> <p style="text-align: center;"><input type="button" value="設定"/></p> </div> </div>			

LAN 側とは別の独立したセカンダリな無線ネットワークの設定を提供します。IP アドレスの配布はプライマリネットワークとは異なるネットワークが提供されます。設定変更後は **設定** ボタンを押すことで反映します。セキュリティ設定については 3.5.2 プライマリネットワークを参照して下さい。

3.5.4 アクセス制限

無線 LAN で接続する端末を MAC アドレスでアクセス制限できます。
設定入力後は **設定** ボタンで確定します。

各機能説明

無線インタフェース

プライマリネットワーク・セカンダリネットワークのどちらの設定を行うかを切り替えます。なお、各ネットワークは有効化されてなければ表示されません。
インタフェース名は SSID が表示されます。

MAC 限定方法

以下の登録する MAC アドレスに対する限定のしかたを設定します。
無効化: MAC アドレスのリストを無視してアクセス制限しません。
許可: MAC アドレスリストに該当する端末のみ通信を許可します。
拒否: MAC アドレスリストに該当する端末は通信を拒否します。

MAC アドレス(例:00:11:22:33:44:55)

各無線インタフェース毎に限定する MAC アドレスを例のようにコロン区切りで入力します。

4 端末設定方法

各種無線 LAN 端末のセットアップ方法を解説します。

※ 無線 LAN 端末のセットアップには本機器の設定を伴うため、有線接続可能なパソコン等から設定が必要であり、無線 LAN 端末のみでの設定は出来ませんので注意してください。

4.1 Windows 8 編

4.1.1 予め本機器の無線設定を下記のように設定しておく

4.1.1.1 802.11 無線設定画面の無線設定を“有効化”にして設定ボタンを押す。

4.1.1.2 プライマリネットワーク画面にて下記のように設定して設定ボタンを押す。

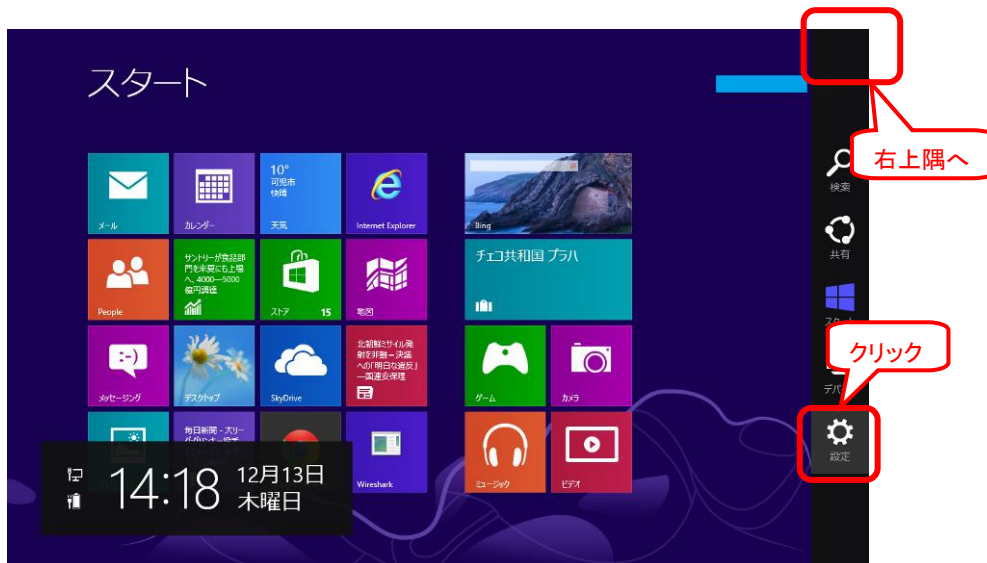
- ・ プライマリネットワークを“有効化”
- ・ ネットワーク名 (SSID) を任意に入力
- ・ WPA2-PSK を“有効化”
- ・ WPA/WPA2 暗号化方式を“AES”に選択
- ・ WPA 暗号化キーを任意に入力

設定は書き留めておくことを推奨します。

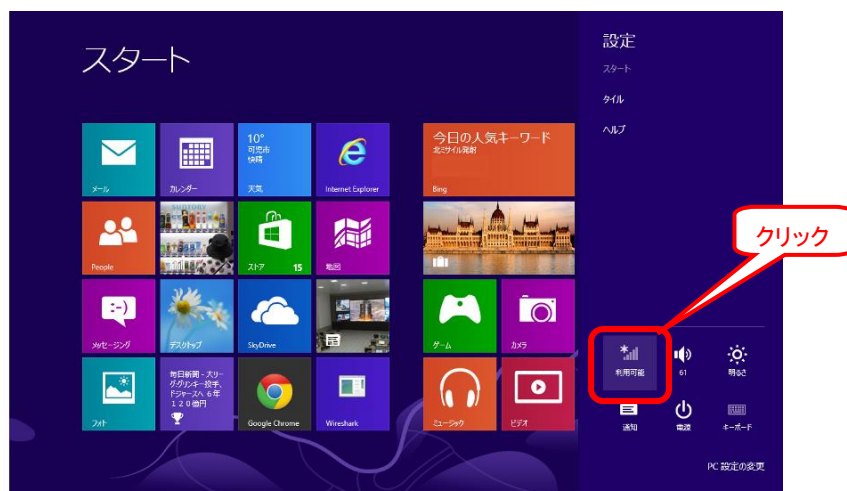
4.1.1.3 アクセス制限画面を確認し、必要であれば設定する。(3.5.4 を参照)

4.1.2 パソコン側に無線 LAN の有効化スイッチがある場合はスイッチを ON する。

4.1.3 マウスカursorを画面の右上隅に当てて、チャームバーを表示させます。次に、設定をクリックします。



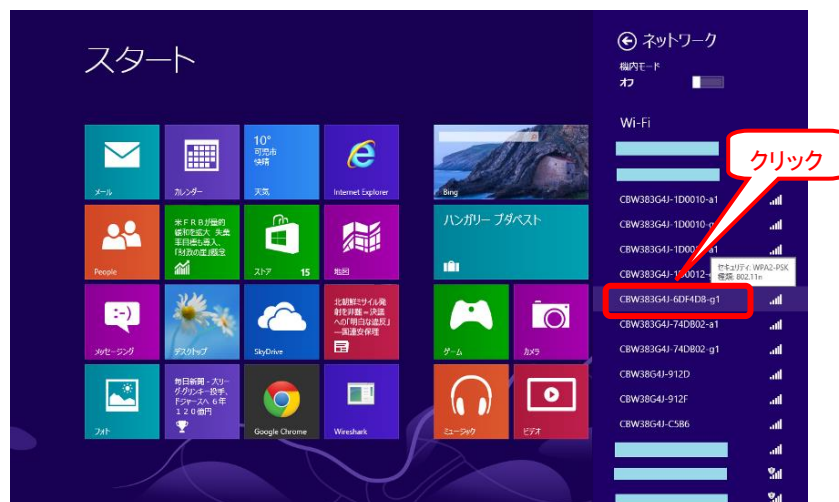
4.1.4 無線のアイコンをクリックします。



このアイコンが次のように「利用不可」の場合、4.1.2に戻り、パソコンに無線LANのスイッチがあればオンにします。

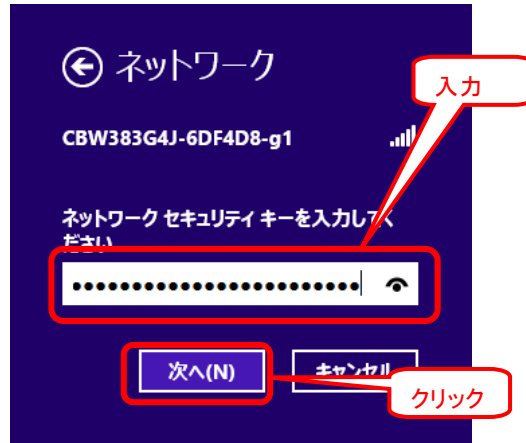


4.1.5 4.1.1.2 で設定したネットワーク名 (SSID)と同じワイヤレスネットワークをクリックします。

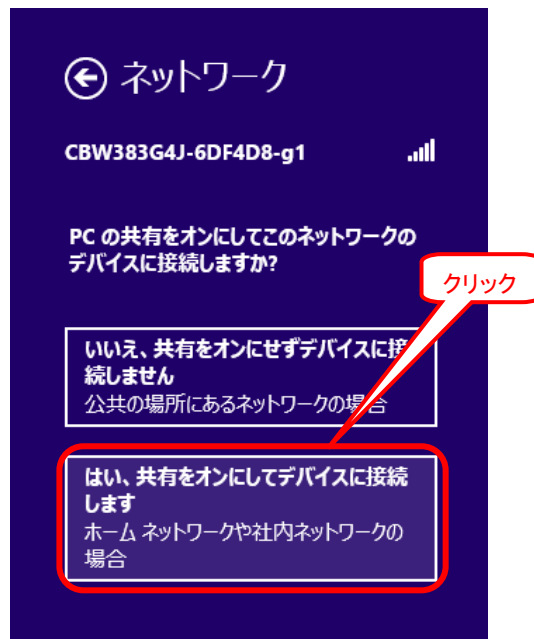


- 4.1.6 4.1.1.2 で入力した無線設定に従い、追加するネットワークの情報を入力し、**次へ** ボタンを押します。

セキュリティキー： モデム側で入力した WPA 暗号化キー



- 4.1.7 共有の選択を行います。一般家庭に設置した場合、「はい、共有をオン…」をクリックします。



- 4.1.8 設定が完了し、自動的に本機器と接続を開始します。

4.2 Windows 7 編

4.2.1 予め本機器の無線設定を下記のように設定しておく

4.2.1.1 802.11 無線設定画面の無線設定を“有効化”にして設定ボタンを押す。

4.2.1.2 プライマリネットワーク画面にて下記のように設定して設定ボタンを押す。

- ・ プライマリネットワークを“有効化”
- ・ ネットワーク名 (SSID) を任意に入力
- ・ WPA2-PSK を“有効化”
- ・ WPA/WPA2 暗号化方式を“AES”に選択
- ・ WPA 暗号化キーを任意に入力

設定は書き留めておくことを推奨します。

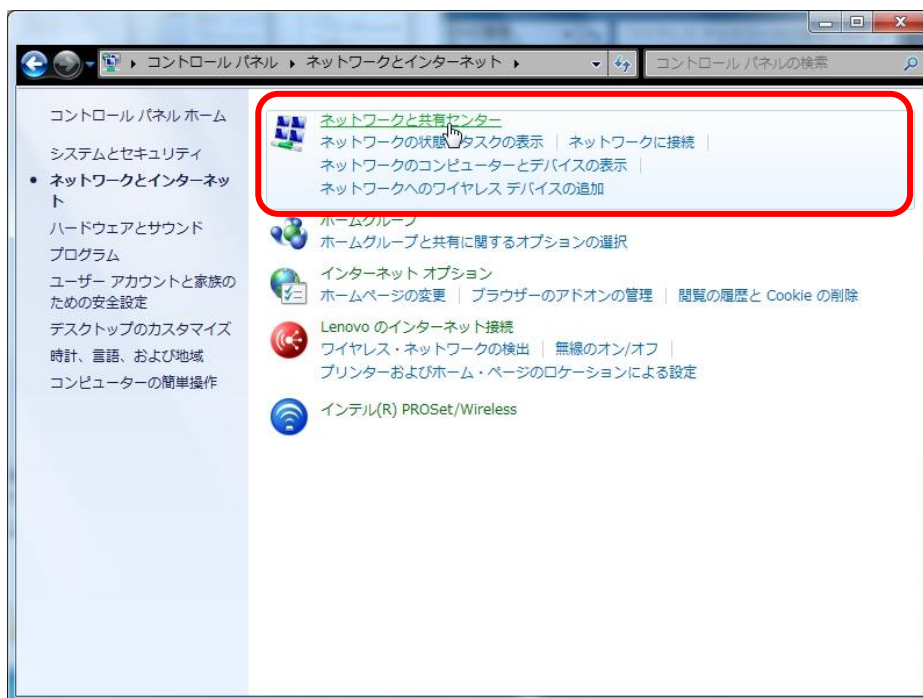
4.2.1.3 アクセス制限画面を確認し、必要であれば設定する。(3.5.4 を参照)

4.2.2 パソコン側に無線 LAN の有効化スイッチがある機器ではスイッチを ON する。

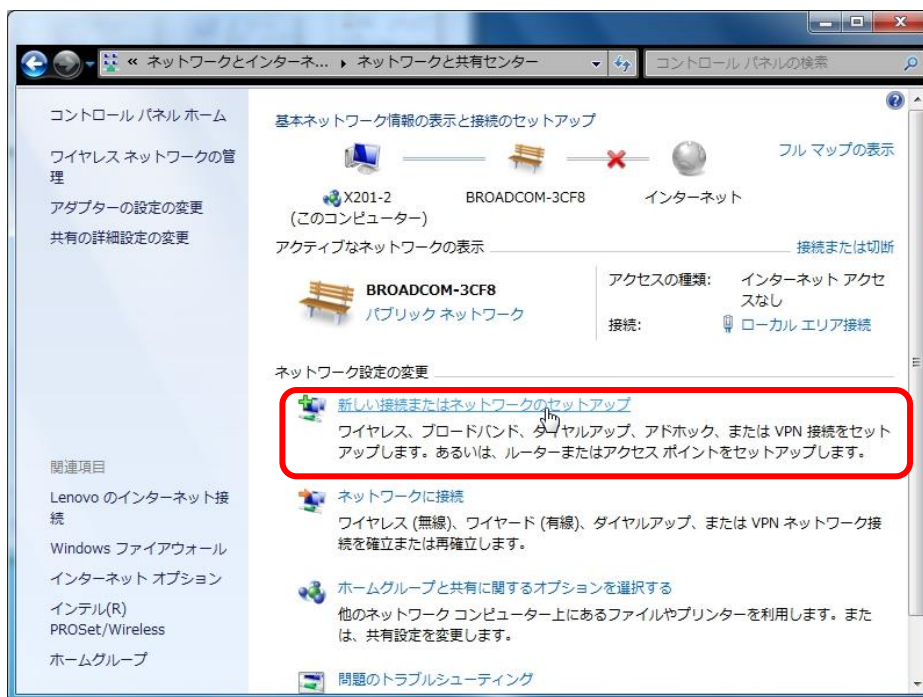
4.2.3 スタート → コントロールパネル を選択し、コントロールパネルを開きます。



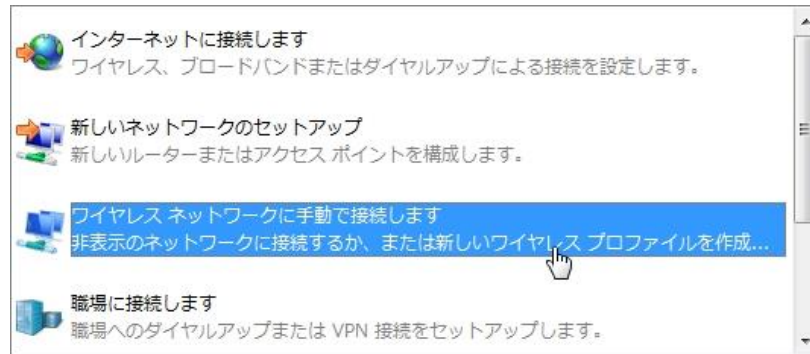
4.2.4 ネットワークとインターネット → ネットワークと共有センターを選択します。



4.2.5 新しい接続またはネットワークのセットアップを選択します。



4.2.6 ワイヤレスネットワークに手動で接続しますを選択し、**次へ**ボタンを押す。



4.2.7 4.2.1.2 で入力した無線設定に従い、追加するネットワークの情報を入力し、**次へ**ボタンを押す。

ネットワーク名: モデム側で入力した SSID
セキュリティの種類: WPA2 パーソナル
暗号化の種類: AES
セキュリティキー: モデム側で入力した WPA 暗号化キー

追加するワイヤレス ネットワークの情報を入力します

ネットワーク名(E):

セキュリティの種類(S):

暗号化の種類(R):

セキュリティ キー(C): 文字を非表示にする(H)

この接続を自動的に開始します(T)

ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する(O)

警告: 選択すると、このコンピューターのプライバシーが危険にさらされる可能性があります。

4.2.8 設定が完了し、自動的に本機器と接続を開始します。

4.3 Windows XP 編

4.3.1 予め本機器の無線設定を下記のように設定しておく

4.3.1.1 802.11 無線設定画面の無線設定を“有効化”にして設定ボタンを押す。

4.3.1.2 プライマリネットワーク画面にて下記のように設定して設定ボタンを押す。

- ・ プライマリネットワークを“有効化”
- ・ ネットワーク名 (SSID) を任意に入力
- ・ WPA2-PSK を“有効化”
- ・ WPA/WPA2 暗号化方式を“AES”に選択
- ・ WPA 暗号化キーを任意に入力

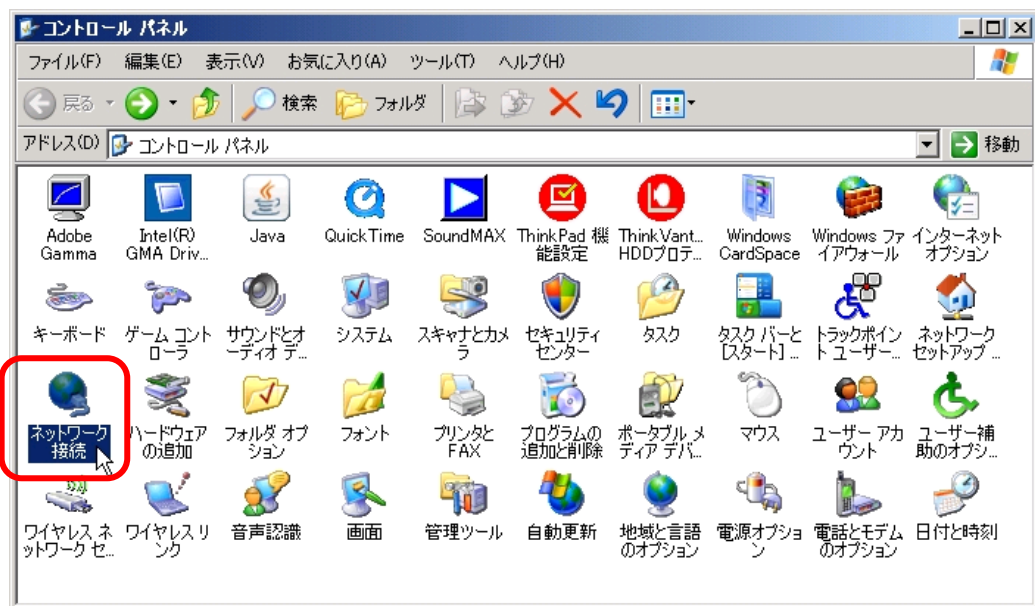
設定は書き留めておくことを推奨します。

4.3.1.3 アクセス制限画面を確認し、必要であれば設定する。(3.5.4 を参照)

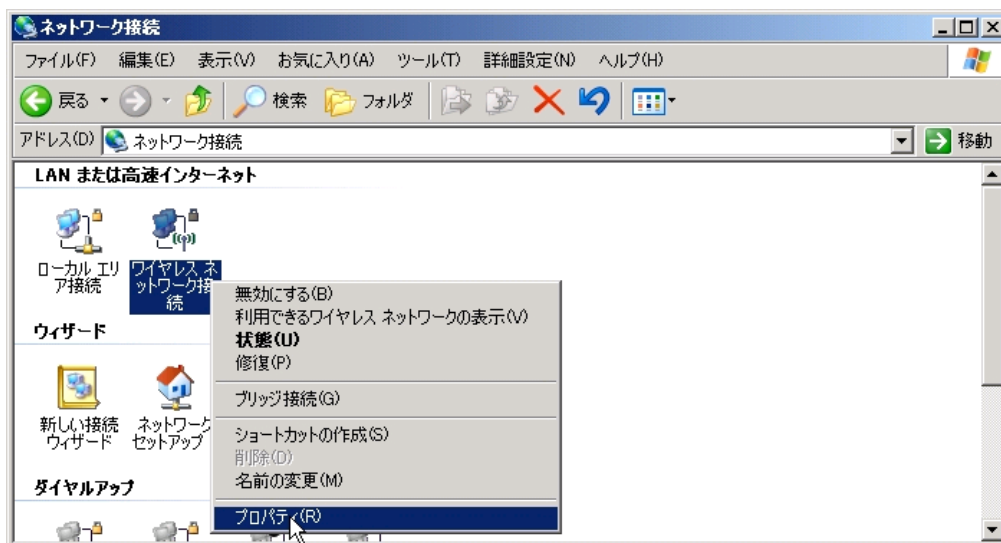
4.3.2 パソコン側に無線 LAN の有効化スイッチがある機器ではスイッチを ON する。

4.3.3 スタート → 設定 → コントロールパネル を選択し、コントロールパネルを開きます。

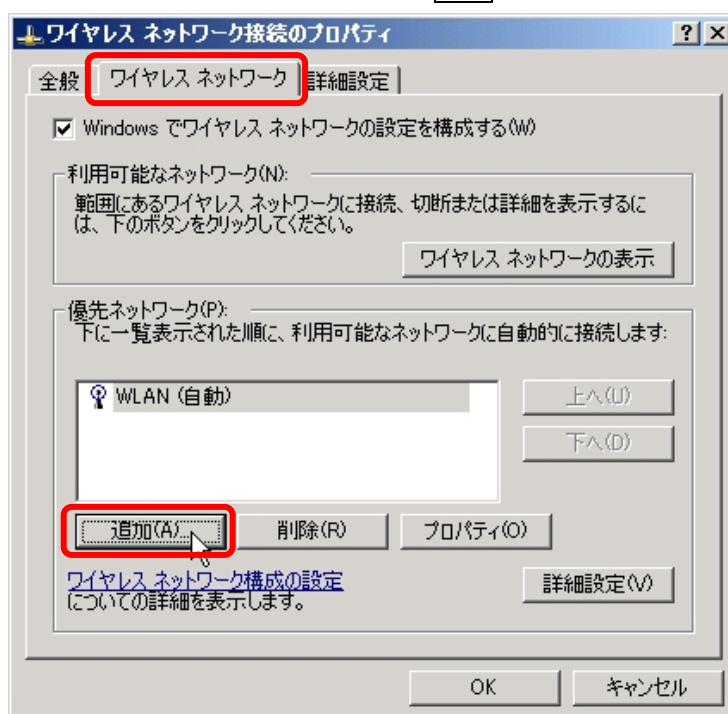
4.3.4 ネットワーク接続 をダブルクリックします。



4.3.5 ワイヤレスネットワーク接続を右クリックし、プロパティを選択

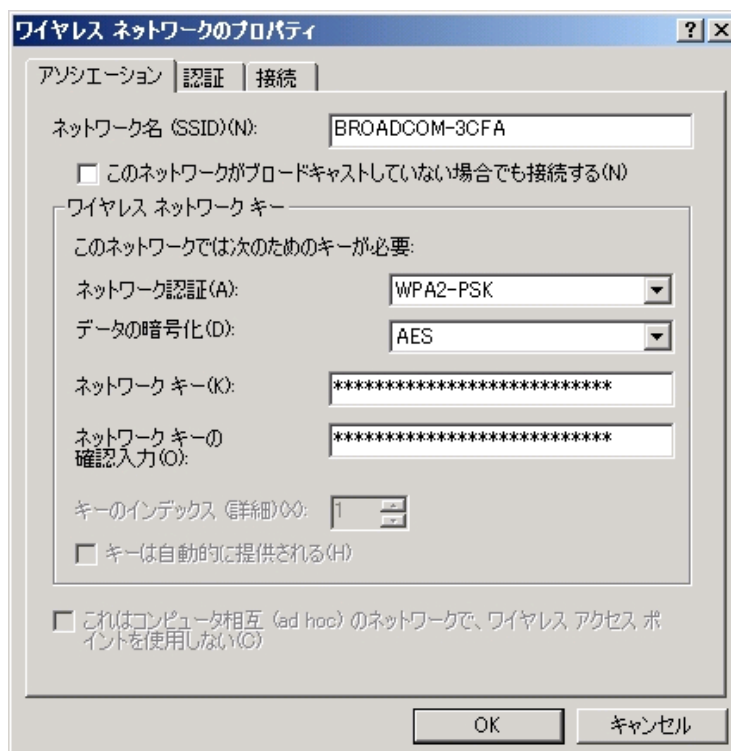


4.3.6 表示されたワイヤレスネットワーク接続のプロパティ画面で、ワイヤレスネットワークタブを選択し、優先ネットワーク内の追加ボタンを押します。



4.3.7 ワイヤレスネットワークのプロパティ画面で、アソシエーションタブを選択し、4.3.1.2 で入力した無線設定に従い、追加するネットワークの情報を入力し、**OK** ボタンを押す。

ネットワーク名: モデム側で入力した SSID
 ネットワーク認証: WPA2-PSK
 データの暗号化: AES
 ネットワークキー: モデム側で入力した WPA 暗号化キー
 ネットワークキーの確認入力: 上記と同じ値を再入力



4.3.8 設定が完了し、自動的に本機器と接続を開始します。

4.4 任天堂 DS 編

任天堂 DS は WEP による簡易なセキュリティーしか対応していませんので、個人情報を伴う通信は盗聴される恐れがあるため、行わない事を推奨します。

4.4.1 予め本機器の無線設定を下記のように設定しておく

4.4.1.1 802.11 無線設定画面の無線設定を“有効化”にして設定ボタンを押す。

4.4.1.2 セカンダリネットワーク画面にて下記のように設定して設定ボタンを押す。

- ・ セカンダリネットワークを“有効化”
- ・ ネットワーク名 (SSID) を任意に入力
- ・ WPA-PSK を“無効化”
- ・ WPA2-PSK を“無効化”
- ・ WEP 暗号化を“WEP(128-bit)”
- ・ ネットワークキー1 に、13文字の半角英数文字を入力するか、26桁の数字を任意に入力

設定は書き留めておくことを推奨します。

4.4.1.3 アクセス制限画面を確認し、必要であれば設定する。(3.5.4 を参照)

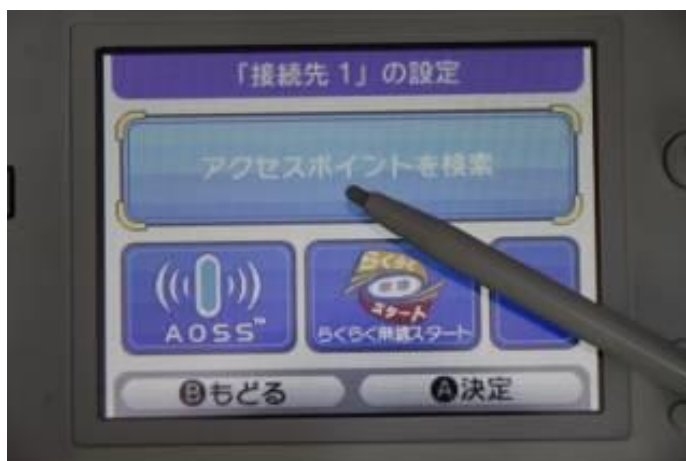
4.4.2 DS で「Wi-Fi コネクション設定」の画面を表示し「Wi-Fi 接続先設定」を選択します。



4.4.3 「未設定」の項目を選択します。



4.4.4 「アクセスポイントを検索」を選択します。



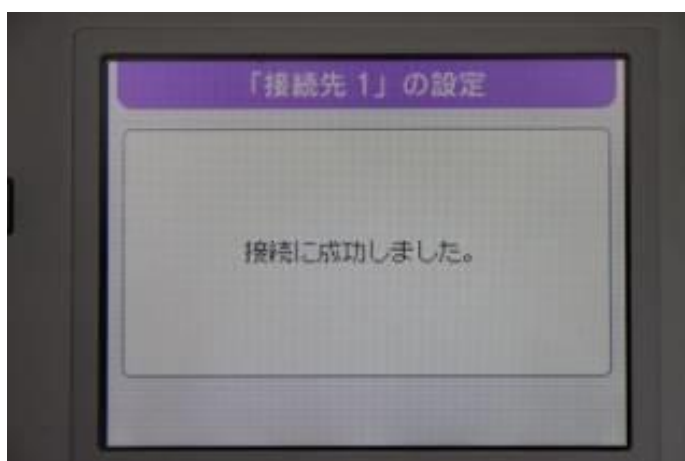
4.4.5 4.4.1.2 で設定したネットワーク名 (SSID) と同じ名前を選択します。



- 4.4.6 4.4.1.2 で設定したネットワークキー1と同じ WEP キーを入力し[決定]を選択します。



- 4.4.7 表示される指示に従って接続テストを実行してください。ここで、以下のように表示されれば成功です。



4.5 任天堂 DSi 編

4.5.1 予め本機器の無線設定を下記のように設定しておく

4.5.1.1 802.11 無線設定画面の無線設定を“有効化”にして設定ボタンを押す。

4.5.1.2 プライマリネットワーク画面にて下記のように設定して設定ボタンを押す。

- ・ プライマリネットワークを“有効化”
- ・ ネットワーク名 (SSID) を任意に入力
- ・ WPA2-PSK を“有効化”
- ・ WPA/WPA2 暗号化方式を“AES”に選択
- ・ WPA 暗号化キーを任意に入力

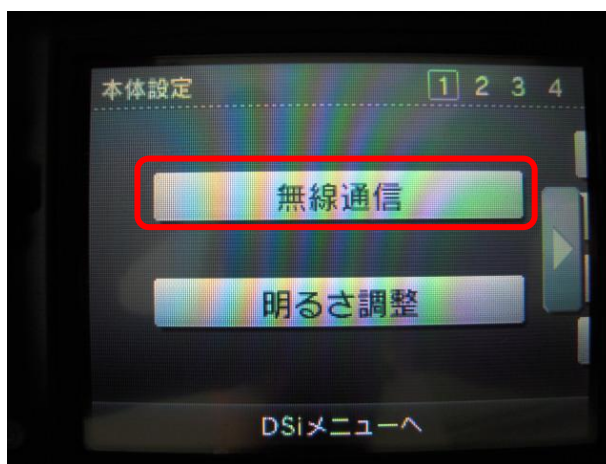
設定は書き留めておくことを推奨します。

4.5.2 アクセス制限画面を確認し、必要であれば設定する。(3.5.4 を参照)

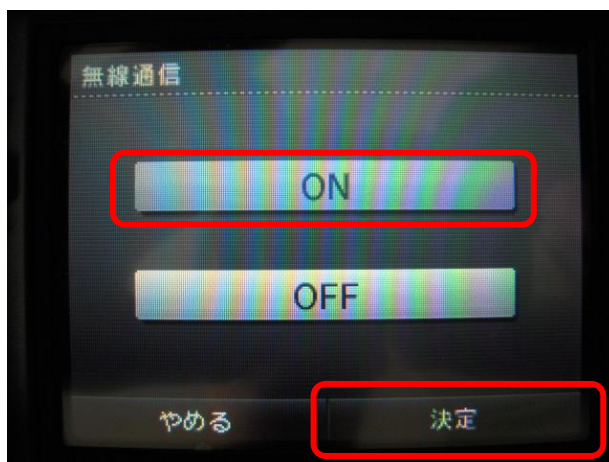
4.5.3 DSi メニューから「本体設定」を選択します。



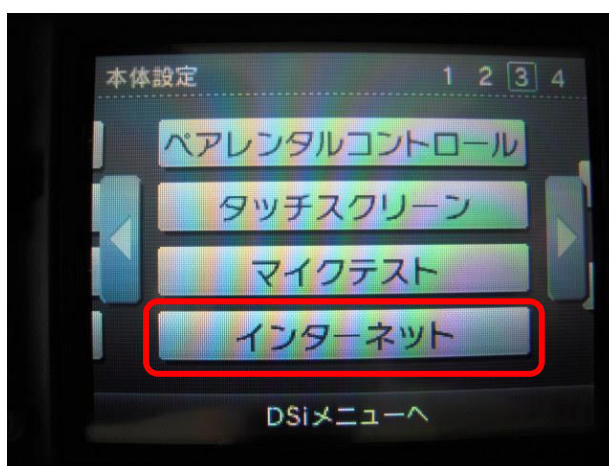
4.5.4 本体設定画面の「無線通信」を選択します。



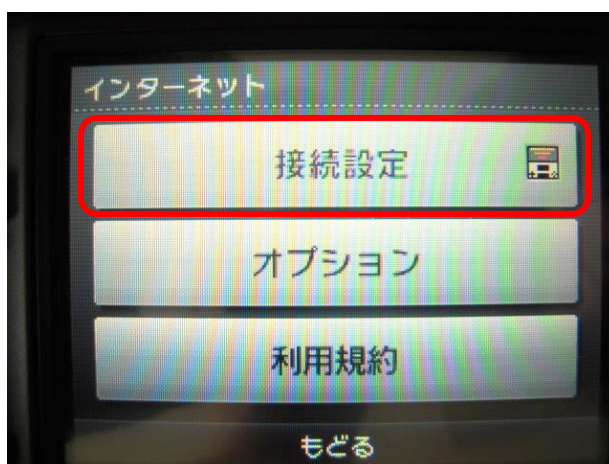
4.5.5 無線通信を「ON」を選択し、「決定」を押します。



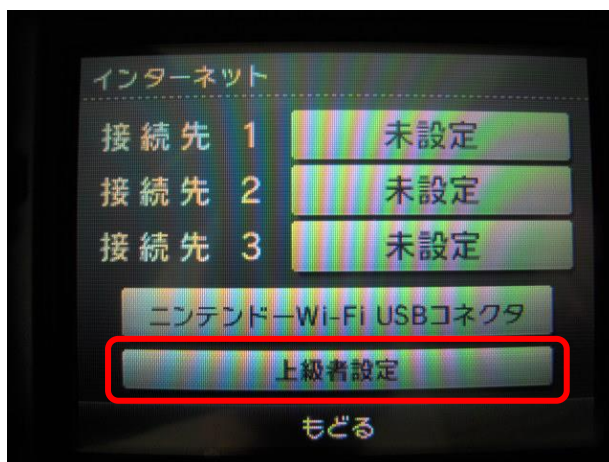
4.5.6 本体設定画面の3ページ目の「インターネット」を選択します。



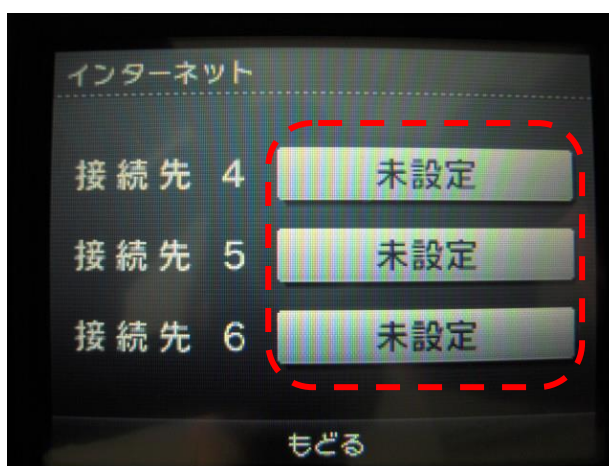
4.5.7 インターネット画面の「接続設定」を選択します。



4.5.8 インターネット画面の「上級者設定」を選択します。



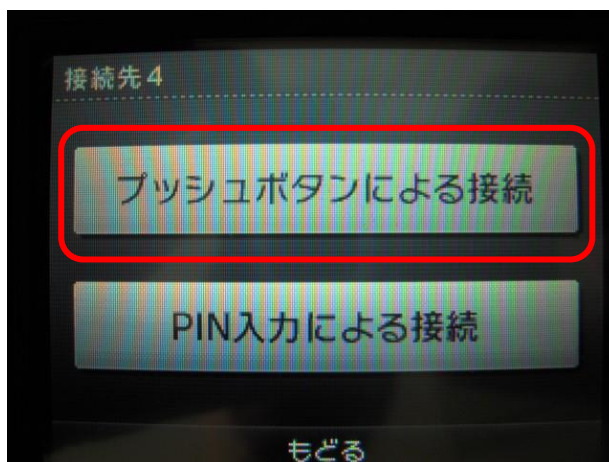
4.5.9 接続先4～6の中で、未設定の項目をどれか選択します。



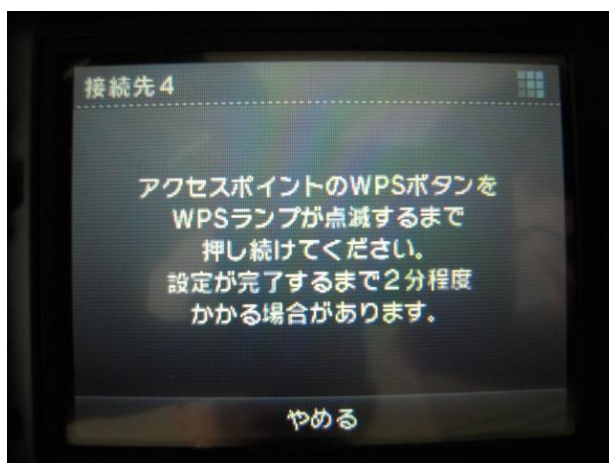
4.5.10 接続先画面から「WiFi Protection SETUP」を選択します。



4.5.11 接続先画面から「プッシュボタンによる」接続を選択します。

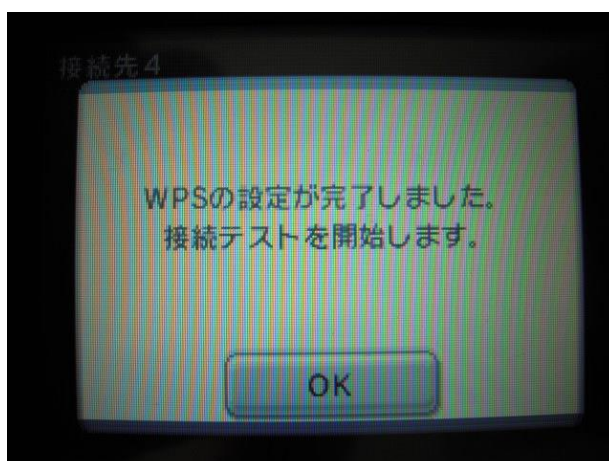


4.5.12 ガイダンス画面が表示されますので、本機器の WPS 押しボタンを2秒程度押しま
す。モデム本体の WPS ランプが点滅を開始し、DSi との接続作業を開始します。

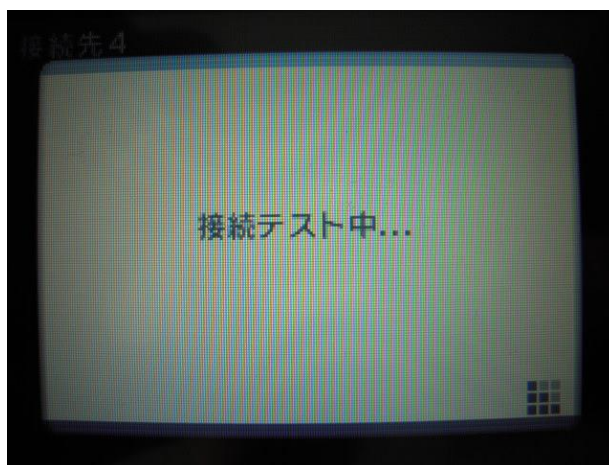


4.5.13 自動設定の終了画面が表示され、モデム本体の WPS ランプは点滅から点灯に
変われば設定は完了し、続いて「OK」を選択し接続テストを行います。

4.5.14



4.5.14 接続テストが行われます。この作業は十数秒間で完了します。



接続テストが終了すると“接続テストに成功しました”の画面が表示され、インターネット画面に戻ります。これで、設定は完了です。

4.6 任天堂 Wii 編

4.6.1 予め本機器の無線設定を下記のように設定しておく

4.6.1.1 802.11 無線設定画面の無線設定を“有効化”にして設定ボタンを押す。

4.6.1.2 プライマリネットワーク画面にて下記のように設定して設定ボタンを押す。

- ・ プライマリネットワークを“有効化”
- ・ ネットワーク名 (SSID) を任意に入力
- ・ WPA2-PSK を“有効化”
- ・ WPA/WPA2 暗号化方式を“AES”に選択
- ・ WPA 暗号化キーを任意に入力

設定は書き留めておくことを推奨します。

4.6.2 アクセス制限画面を確認し、必要であれば設定する。(3.5.4 を参照)

4.6.3 Wii メニュー画面左下の「Wii」ボタンにカーソルを合わせ、A ボタンを押します。



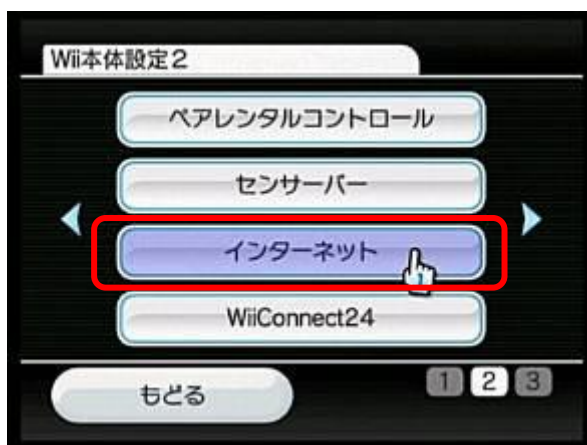
4.6.4 メニュー画面が表示されますので「Wii 本体設定」にカーソルを合わせ、A ボタンを押します。



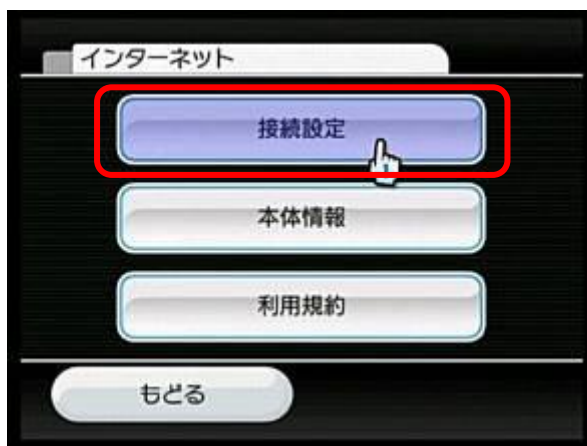
- 4.6.5 Wii 本体設定 1 の画面が表示されますので、画面右端の矢印にカーソルを合わせ、A ボタンを押します。



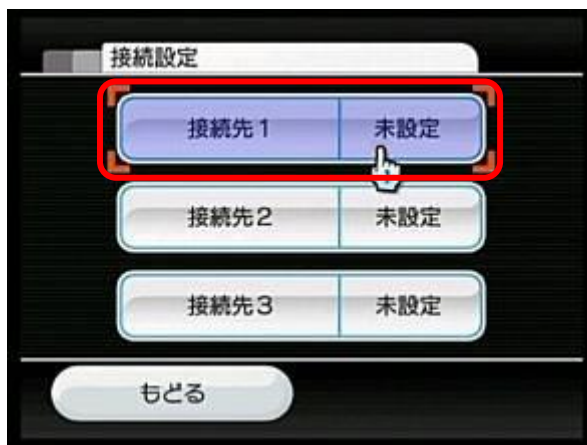
- 4.6.6 Wii 本体設定 2 の画面が表示されますので、「インターネット」にカーソルを合わせ、A ボタンを押します。



- 4.6.7 インターネットの画面が表示されますので、「接続設定」にカーソルを合わせ、A ボタンを押します。



- 4.6.8 接続設定の画面が表示されますので、「接続先 1」にカーソルを合わせ、A ボタンを押します。



- ※ すでに接続先 1 が設定済みの場合は、接続先 2 または 3 にカーソルを合わせ、A ボタンを押します。

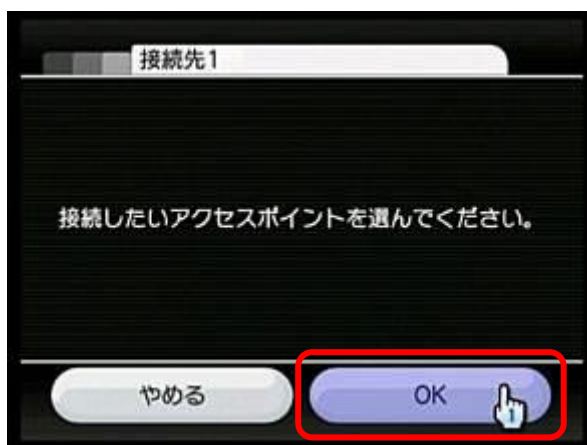
- 4.6.9 接続先 1 の画面が表示されますので、「Wi-Fi 接続」にカーソルを合わせ、A ボタンを押します。



4.6.10 続けて「アクセスポイントを検索」にカーソルを合わせ、A ボタンを押します。



4.6.11 「接続したいアクセスポイントを選んでください。」と表示されますので、「OK」にカーソルを合わせ、A ボタンを押します。



4.6.12 アクセスポイントの一覧が表示されますので、4.6.1.2 で設定した SSID と同じものにカーソルを合わせ、A ボタンを押します。



※ 目的の SSID が見つからない場合は、画面右下の「再検索」にカーソルを合わせて A ボタンを押し、表示されるか確認します。

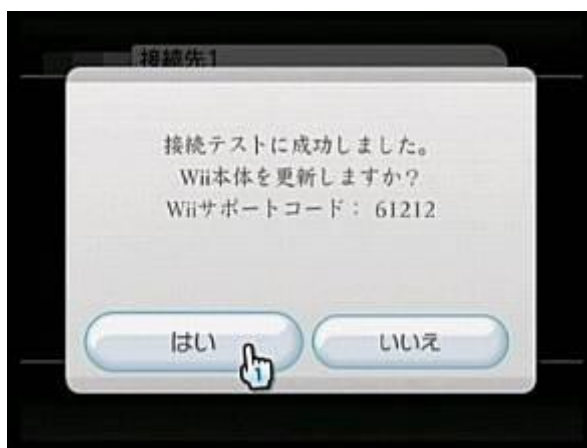
4.6.13 「キーを入力してください。」と表示されます。左上にアクセスポイントの暗号方式（WEP、WPA-PSK 等）が表示されますので、暗号方式が WPA2-PSK(AES)で一致しているか確認します。一致している場合は、入力欄にカーソルを合わせて A ボタンを押します。一致していない場合は、「セキュリティの変更」にカーソルを合わせて A ボタンを押し、WPA2-PSK(AES)を選択します。

4.6.14 文字入力の画面となります。4.5.1.2 で設定した暗号キーを入力して、「OK」にカーソルを合わせて、A ボタンを押します。



4.6.15 「キーを入力してください。」の画面に戻ります。入力したキーは「*」で表示されます。「OK」にカーソルを合わせて、A ボタンを押します。

- 4.6.16 「この内容を保存します。よろしいですか？」と表示されます。「OK」にカーソルを合わせて、A ボタンを押します。
- 4.6.17 「設定内容を保存しました。」と表示されます。「OK」にカーソルを合わせて、A ボタンを押します。
- 4.6.18 接続テストが行われ、正常に通信できた場合は「接続テストに成功しました。Wii本体を更新しますか？」と表示されます。
更新する場合は「はい」を、更新せず設定を完了する場合は「いいえ」にカーソルを合わせて A ボタンを押し、設定を完了します。



4.7 APPLE iPhone 編

4.7.1 予め本機器の無線設定を下記のように設定しておく

4.7.1.1 802.11 無線設定画面の無線設定を“有効化”にして設定ボタンを押す。

4.7.1.2 プライマリネットワーク画面にて下記のように設定して設定ボタンを押す。

- ・ プライマリネットワークを“有効化”
- ・ ネットワーク名 (SSID) を任意に入力
- ・ WPA2-PSK を“有効化”
- ・ WPA/WPA2 暗号化方式を“AES”に選択
- ・ WPA 暗号化キーを任意に入力

設定は書き留めておくことを推奨します。

4.7.2 アクセス制限画面を確認し、必要であれば設定する。(3.5.4 を参照)

4.7.3 ホーム画面から「設定」をタッチします。



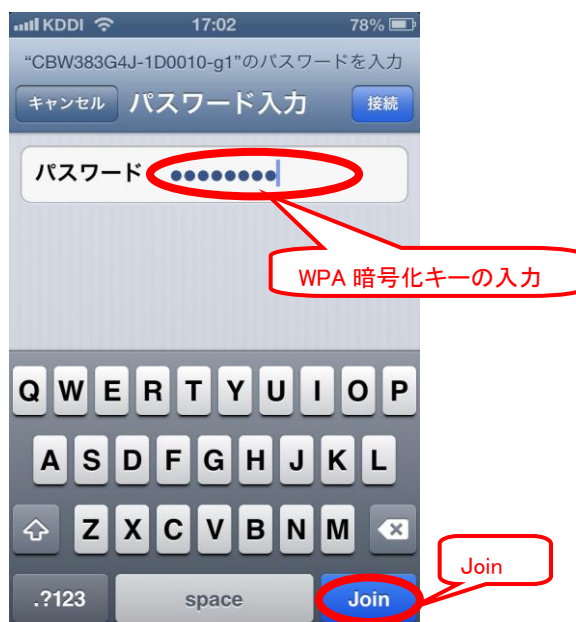
4.7.4 設定画面から「Wi-Fi」をタッチします。



4.7.5 Wi-Fi ネットワーク画面で、「Wi-Fi」を“オン”にし、4.7.1.2 で設定したネットワーク名 (SSID)と同じワイヤレスネットワークをタッチします。



- 4.7.6 パスワード入力画面が表示されましたら、4.7.1.2 で設定した WPA 暗号化キーを入力し、最後に Join をタッチして入力を完了します。



- 4.7.7 無線 LAN 接続に成功すると、左上に接続アイコンが表示され、接続が完了します。



- 4.7.8 もしもパスワードの入力に失敗した場合には、下記の表示が出ますので、再度正しく入力して下さい。



4.8 APPLE iPad 編

4.8.1 予め本機器の無線設定を下記のように設定しておく

4.8.1.1 802.11 無線設定画面の無線設定を“有効化”にして設定ボタンを押す。

4.8.1.2 プライマリネットワーク画面にて下記のように設定して設定ボタンを押す。

- ・ プライマリネットワークを“有効化”
- ・ ネットワーク名 (SSID) を任意に入力
- ・ WPA2-PSK を“有効化”
- ・ WPA/WPA2 暗号化方式を“AES”に選択
- ・ WPA 暗号化キーを任意に入力

設定は書き留めておくことを推奨します。

4.8.2 アクセス制限画面を確認し、必要であれば設定する。(3.5.4 を参照)

4.8.3 ホーム画面から「設定」をタッチします。



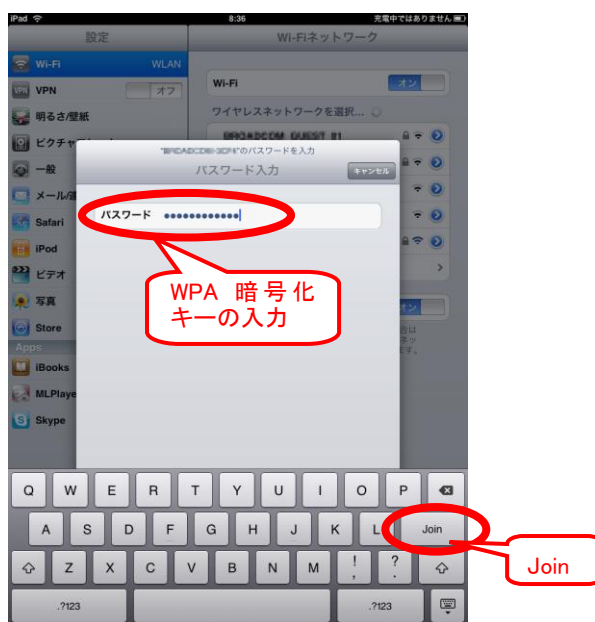
4.8.4 設定画面から「Wi-Fi」をタッチします。



4.8.5 Wi-Fi ネットワーク画面で、「Wi-Fi」を“オン”にし、4.8.1.2 で設定したネットワーク名 (SSID) と同じワイヤレスネットワークをタッチします。



- 4.8.6 パスワード入力画面が表示されましたら、4.8.1.2 で設定した WPA 暗号化キーを入力し、最後に Join をタッチして入力を完了します。



- 4.8.7 無線 LAN 接続に成功すると、左上に接続アイコンが表示され、接続が完了します。



- 4.8.8 もしもパスワードの入力に失敗した場合には、下記の表示が出ますので、再度正しく入力して下さい。



4.9 APPLE MAC OS 10.6 以降 編

4.9.1 予め本機器の無線設定を下記のように設定しておく

4.9.1.1 802.11 無線設定画面の無線設定を“有効化”にして設定ボタンを押す。

4.9.1.2 プライマリネットワーク画面にて下記のように設定して設定ボタンを押す。

- ・ プライマリネットワークを“有効化”
- ・ ネットワーク名 (SSID) を任意に入力
- ・ WPA2-PSK を“有効化”
- ・ WPA/WPA2 暗号化方式を“AES”に選択
- ・ WPA 暗号化キーを任意に入力

設定は書き留めておくことを推奨します。

4.9.2 アクセス制限画面を確認し、必要であれば設定する。(3.5.4 を参照)

4.9.3 画面下部のアイコンから「システム環境設定」を選択します。



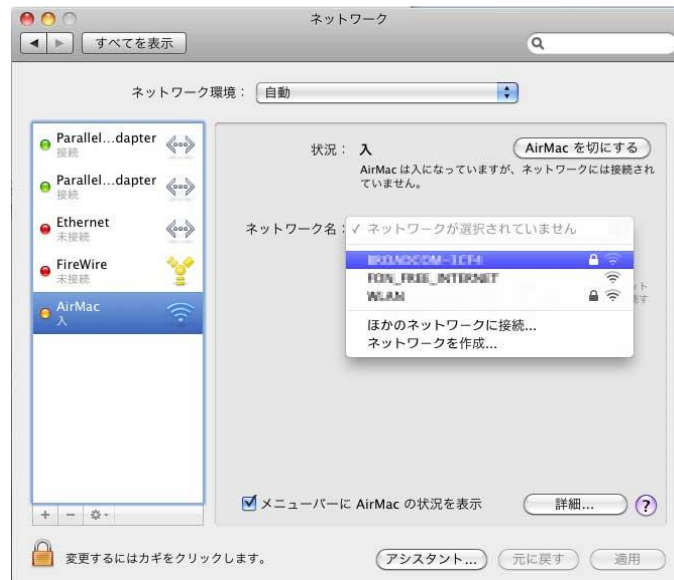
4.9.4 「システム環境設定」画面中のインターネットとワイヤレスのネットワークを選択します。



- 4.9.5 「ネットワーク」画面中の左側のデバイスから「AirMac」を選択し、右側の「状況」を確認して、“入”になっていることを確認します。もしも“切”になっている場合は、「AirMac を入にする」をクリックして“入”にします。



- 4.9.6 「ネットワーク」画面中のネットワーク名をクリックすると、SSID のリストが表示されますので、4.9.1.2 で設定したネットワーク名 (SSID) と同じネットワーク名を選択します。



4.9.7 パスワードの入力画面が表示されますので、4.9.1.2 で設定した WPA 暗号化キーを入力し、**OK** をクリックします。



4.9.8 正常に無線 LAN 設定が完了すると、AirMAC のアイコンが緑色の状態となり接続が完了したことが判断できます。



4.10 Android 編

4.10.1 予め本機器の無線設定を下記のように設定しておく

4.10.1.1 802.11 無線設定画面の無線設定を“有効化”にして設定ボタンを押す。

4.10.1.2 プライマリネットワーク画面にて下記のように設定して設定ボタンを押す。

- ・ プライマリネットワークを“有効化”
- ・ ネットワーク名 (SSID) を任意に入力
- ・ WPA2-PSK を“有効化”
- ・ WPA/WPA2 暗号化方式を“AES”に選択
- ・ WPA 暗号化キーを任意に入力

設定は書き留めておくことを推奨します。

4.10.2 アクセス制限画面を確認し、必要であれば設定する。(3.5.4 を参照)

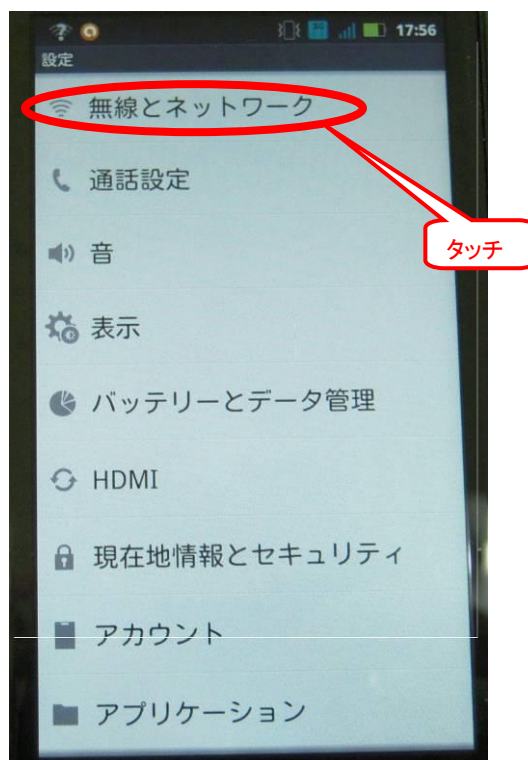
4.10.3 ホーム画面から すべてのアプリ をタッチします。



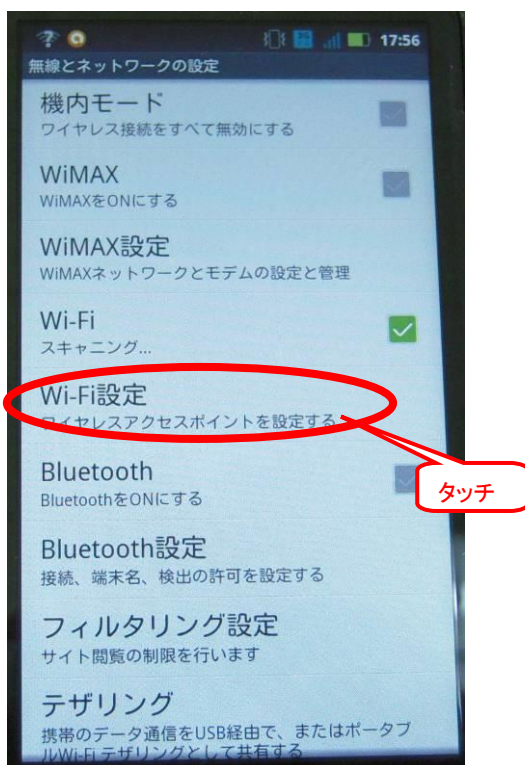
4.10.4 すべてのアプリ画面から「設定」をタッチします。



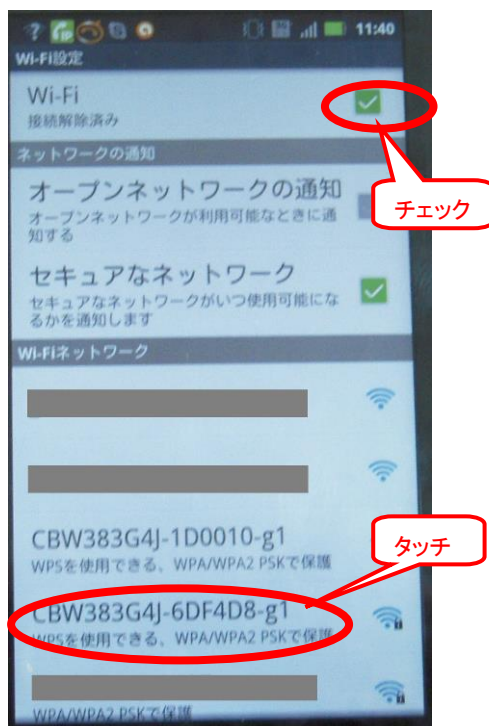
4.10.5 設定画面から「無線とネットワーク」をタッチします。



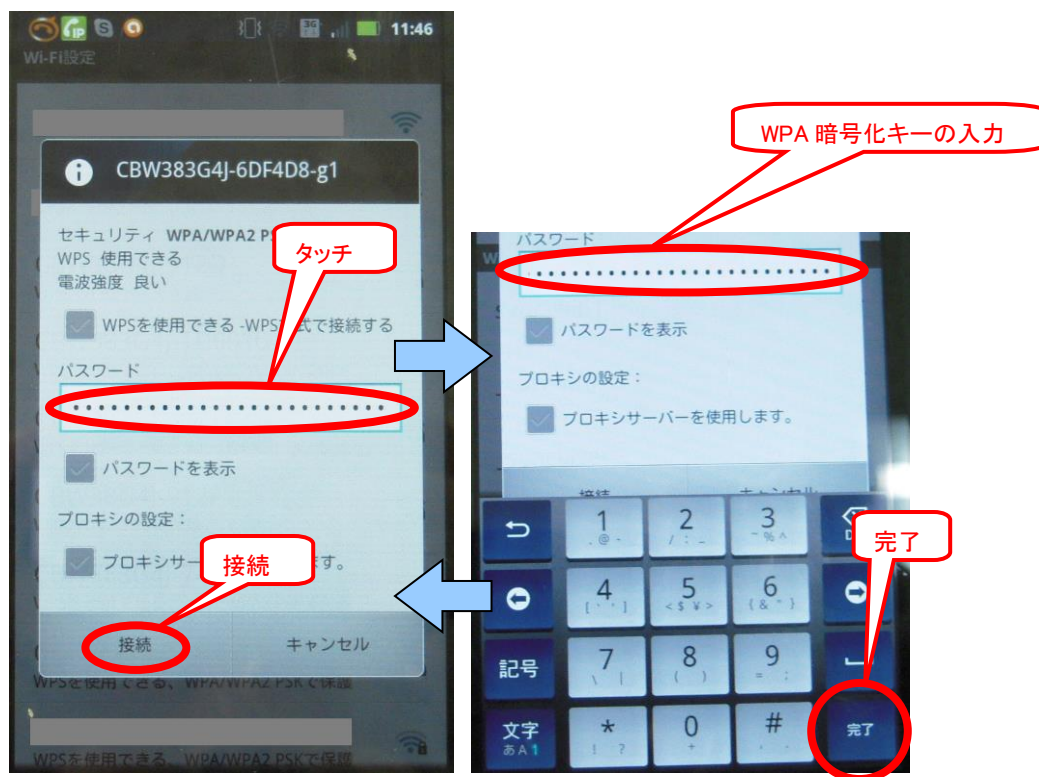
4.10.6 無線とネットワークの設定画面から「Wi-Fi 設定」をタッチします。



4.10.7 Wi-Fi 設定画面で、「Wi-Fi」を“チェック有り”にし、4.10.1.2 で設定したネットワーク名 (SSID) と同じワイヤレスネットワークをタッチします。



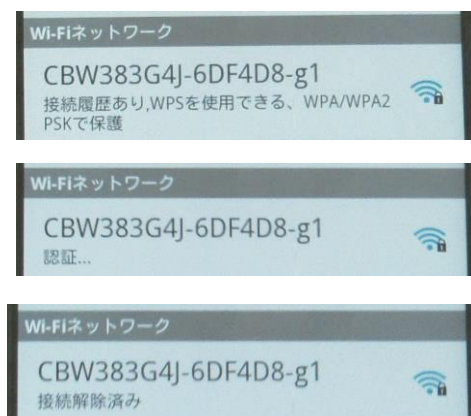
4.10.8 パスワード入力画面が表示されましたら、4.10.1.2 で設定した WPA 暗号化キーを入力し、最後に 接続 をタッチして入力を完了します。

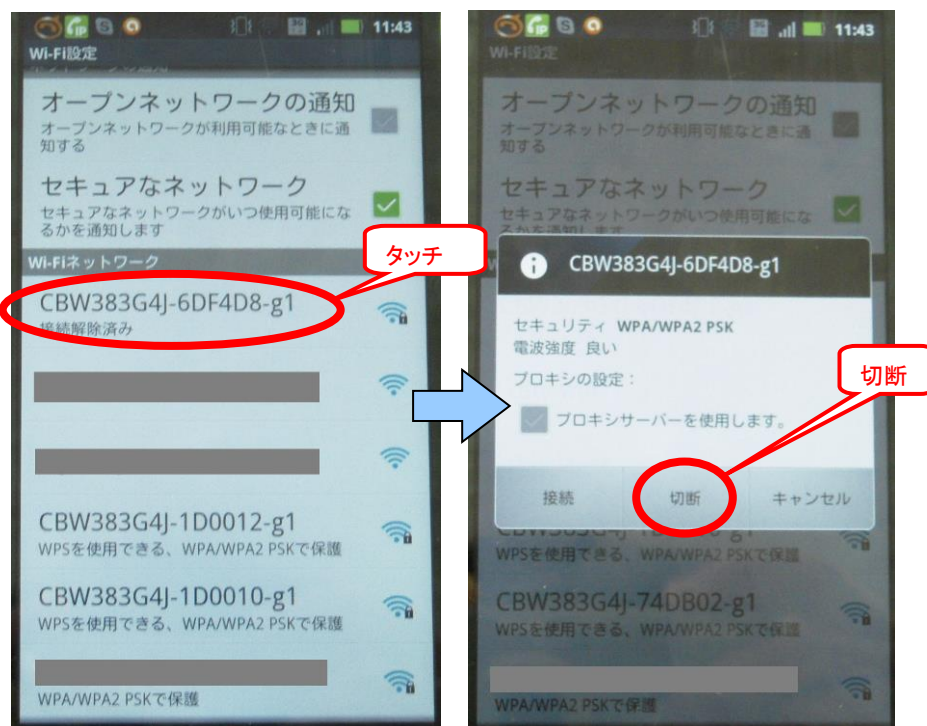


4.10.9 無線 LAN 接続に成功すると、上部に接続アイコンが表示され、接続が完了します。



4.10.10 パスワードの入力に失敗した場合には、接続アイコンは出ず、Wi-Fi 設定にて下記の状態表示が繰り返されます。このネットワークをタッチして切断し、4.10.7に戻って設定しなおします。





メモ

供給元

シンクレイヤ株式会社

本社

〒460-0012

名古屋市中区千代田二丁目 21 番 18 号

TEL 052-242-7899 FAX 052-238-5458

<http://www.synclayer.co.jp/>